

# 平成26年3月期 第3四半期

平成25年4月1日～平成25年12月31日

## 補足説明資料

---

平成26年1月30日（木）

デジタルアーツ株式会社

（証券コード2326）

平成26年3月期 第3四半期連結累計期間

売上高 2,124百万円 (前年同期比 107.6%)

経常利益 343百万円 (前年同期比 97.0%)

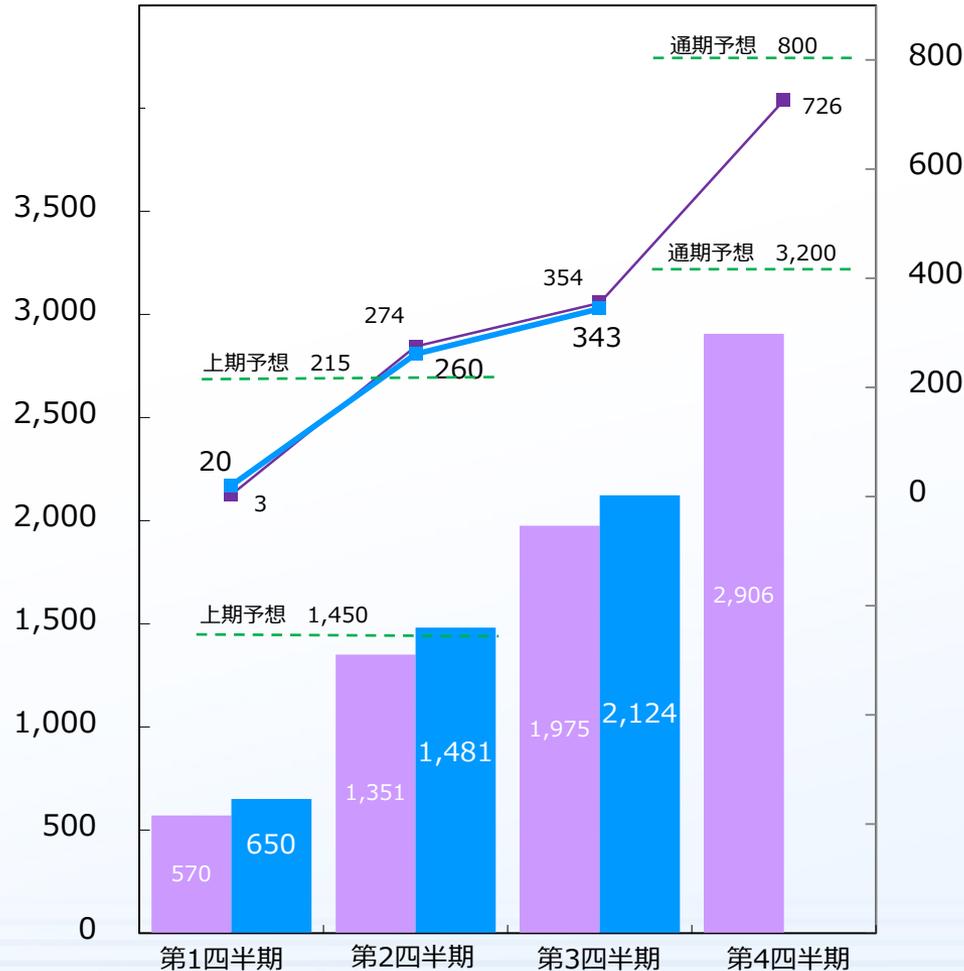
(単位：百万円)

連結	平成25年3月期	平成26年3月期	
	第3四半期累計 (実)	第3四半期累計 (実)	前年同期比
売上高	1,975	2,124	107.6%
営業利益	355	336	94.8%
経常利益	354	343	97.0%
四半期純利益	214	210	97.9%

## 業績の進捗 (連結)

(単位：百万円)

平成26年3月期 ■ : 売上 ▲ : 経常利益  
 平成25年3月期 ■ : 売上 ▲ : 経常利益



売上高 : 通期の約66.4%の進捗  
 (前期同期 : 約67.9%の進捗)

経常利益 : 通期の約42.9%の進捗  
 (前年同期 : 約48.7%の進捗)

売上原価 648百万円（前年同期比120.3%）

販売費及び一般管理費 1,140百万円（前年同期比105.4%）

新製品開発・発売に伴う人員の増強と減価償却費の増加、海外展開関連費用などによるものです  
いずれも前期より取り組んでいる今後の成長に向けた投資であり、計画通りに推移しています

（単位：百万円）

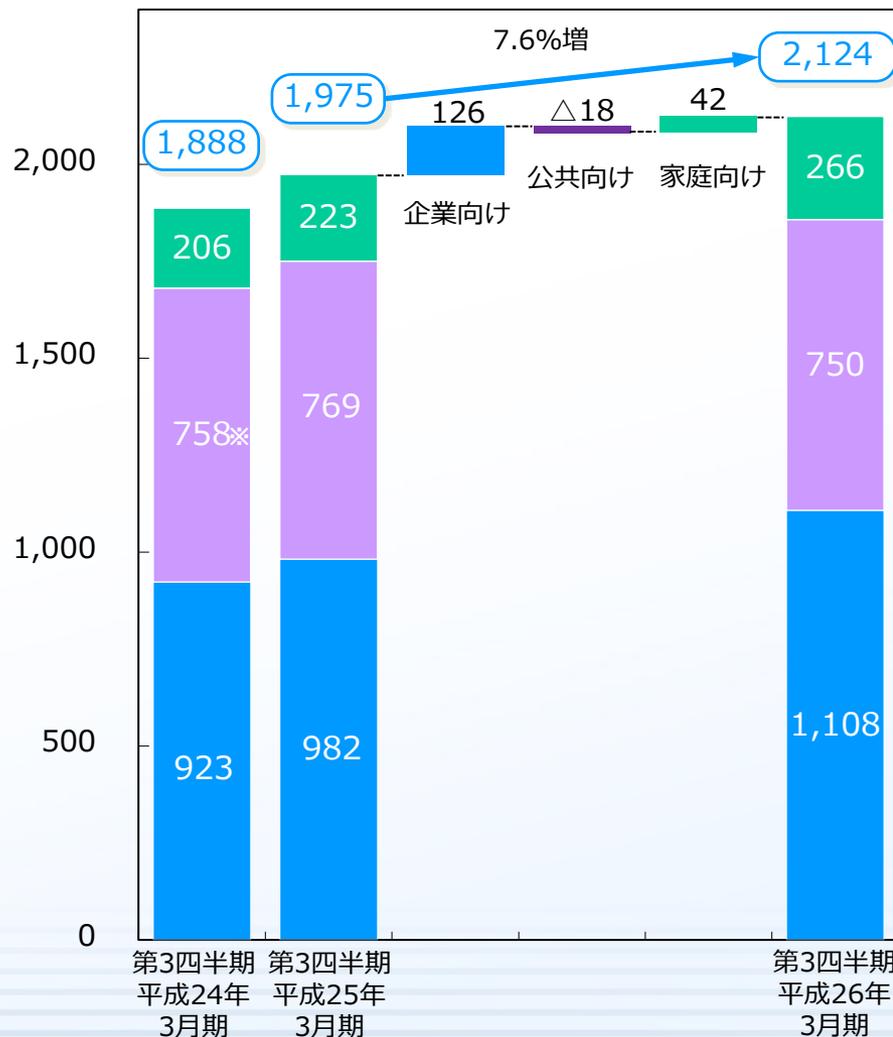
連結	平成25年 3月期	平成26年3月期			
	第3四半期 累計（実）	第3四半期 累計（実）	前年同期比	前年同期 増減額	主な増減要因
売上原価	538	648	120.3%	109	
労務費	268	284	106.1%	16	新製品開発に伴う体制強化
減価償却費	140	199	142.0%	59	新製品発売に伴う減価償却費の増加
他勘定振替その他製造原価	129	163	126.2%	33	海外展開関連費用増やD-SPA用サーバー機器の仕入れ増など
販売費及び一般管理費	1,081	1,140	105.4%	58	
人件費	517	597	115.3%	79	新製品発売に伴う体制強化
広告宣伝費	177	139	78.4%	△38	広告費減
その他	385	403	104.7%	17	人員増加に伴う関連費用、海外展開関連費用の増加

# 市場別売上高について

## 市場別売上高の推移（連結）

(単位：百万円)

■ 企業向け市場 ■ 公共向け市場 ■ 家庭向け市場



※ 平成24年3月期：大型受注分(約190百万円) 含む

## 前年同期比

企業向け市場：約126百万円増 (12.8%増)

公共向け市場：約18百万円減 (2.5%減)

家庭向け市場：約42百万円増 (18.9%増)

全体：約149百万円増 (7.6%増)

## ■ 企業向け市場のトピックス

- 企業向け市場における売上高は1,108百万円（前年同期比112.8%）
  - ハイライト
    - 売上高前年同期比は「i-FILTER」6.6%増、「m-FILTER」20.1%増、「D-SPA」76.6%増  
新製品「FinalCode」、NRIセキュアテクノロジーズ株式会社より譲り受けた「Mail Adviser」および「Labeling」による新たな売上が発生
    - 「i-FILTER」と「m-FILTER」のクラウド版が好調に推移
    - 「i-FILTER」のモバイル端末版が絶好調に推移
  - ローライト
    - 「i-FILTER」と「m-FILTER」のクラウド版へのニーズ急進に伴い、サーバー版が予定より伸びず

## ■ 公共向け市場のトピックス

- 公共向け市場における売上高は750百万円（前年同期比97.5%）
  - ハイライト
    - 「i-FILTER」のモバイル端末版が文教市場等で導入され始める
  - ローライト
    - 「i-FILTER」の販売が予定より伸びず

## ■ 家庭向け市場のトピックス

- 家庭向け市場における売上高は266百万円（前年同期比118.9%）
  - ハイライト
    - 「i-フィルター」の売上高前年同期比は「モバイル端末版」72.3%増、「ゲーム機/TV版」7.5%増
    - 「モバイル端末版」は、携帯電話事業者との連携やOEM提供をはじめとした有料サービスの販売が順調に推移
  - ローライト
    - 「i-フィルター」の売上高前年同期比は「パソコン版」3.1%減  
新規パソコン出荷台数の減少に伴い新規販売が伸びず

## ■ 海外関連市場のトピックス

- ハイライト
  - 「FinalCode」のグローバル販売に向けた準備が順調に進捗
- ローライト
  - 「Polkast」の開発が遅延

# 平成26年3月期 通期業績の予想

<平成25年4月1日～平成26年3月31日>

---

 DigitalArts.

平成26年3月期連結会計期間の

売上高は32億円（前年同期比110.1%）

経常利益は8億円（前年同期比110.2%）を見込む

今後、重要な変化がある場合は適切に開示してまいります

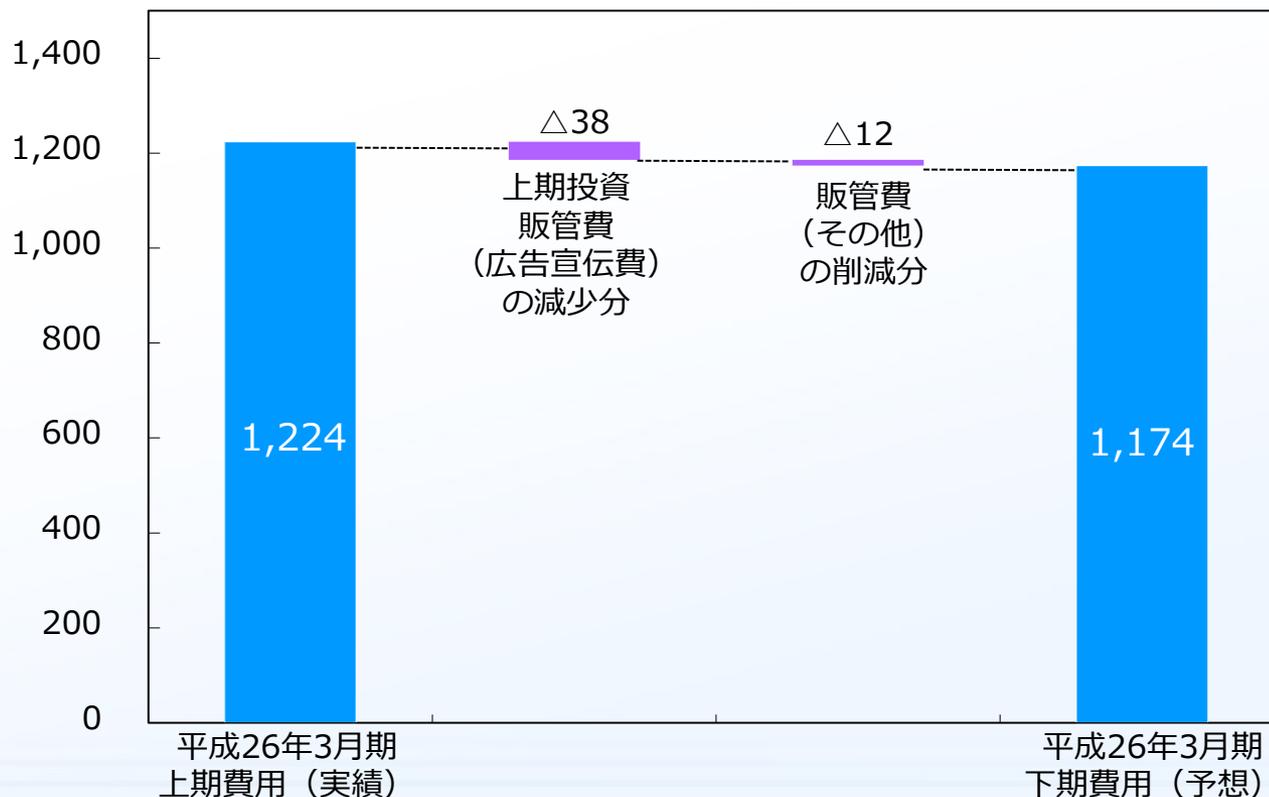
（単位：百万円）

連結	平成25年3月期	平成26年3月期	
	通期（実）	通期（予）	前年同期比
売上高	2,906	3,200	110.1%
営業利益	736	800	108.6%
経常利益	726	800	110.2%
当期純利益	444	480	108.0%

\*通期業績予想は平成25年5月9日公表の業績予想

下期の費用は、上期に計上した一時的な投資がなくなることや販促費等の一部削減を織り込んでおり、概ね計画通りに推移しています

(単位：百万円)



## ➤ 配当について

株主の皆様に対する利益還元につきまして、以下の通り計画しております

平成26年3月期の目標配当性向を連結当期純利益の約23.0%

平成26年3月期年間剰余金配当予想額は1株当たり8.00円

	1株当たり配当金			連結配当性向
	中間	期 末	合計	
平成25年3月期	300.00	500.00※1	800.00	24.9%
平成26年3月期（予想）※2	4.00	4.00	8.00	23.0%

※1 東京証券取引所一部指定記念配当の200.00円を含んでおります。

※2 平成25年3月31日現在の株主に対し平成25年4月1日付けをもって、普通株式1株につき100株の割合で株式分割をしております。平成26年3月期の配当金予想は当該株式分割後の金額であります。

本プレゼンテーション資料に記載されている計画、戦略、財務的予測のうち歴史的事実でないものは、将来の見通しに対する記述であります。本見通しは、当社経営陣が現在入手可能な情報に基づき判断したもので、環境等の変化により大きく見通しの変動する可能性があり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。今後、重要な変化がある場合は適宜開示してまいります。

本プレゼンテーションの基本的な数値の記載は、一部を除き百万円未満を切り捨てて表示しております。

# DigitalArts®

-より便利な、より快適な、より安全な  
インターネットライフに貢献していく-